

「かわせみ会」便り

令和6年 11月
俳句を楽しむ会



“季語刻変秀句”

[9月度] “雲未だ力感あふるる残暑かな”

[10月度] “稻刈りて鎮守の社にのぼり立つ”

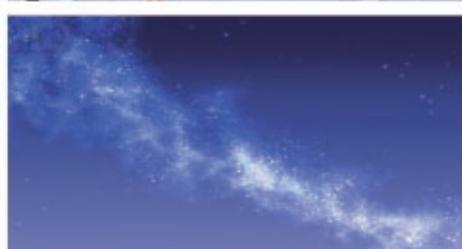
久々の5人選句が9, 10月で出ました。

残暑が残る勢いがある雲と秋の祭りのなつかしさを詠みました。

9月度の詠句

皆さんのお待ちしています！

対岸も染めて真赤に曼荼羅華
宵闇に蟋蟀初音心地よさ
天高し墓建立し名は朱文字
彼岸花高き空見て秋を知り
台風の進路いずこえ肩すかし
待ち遠しやつと来た秋朝の風
に



10月度の詠句

足して貼る収集切手夜長の灯
秋夜月産み月近し輝きて
今年こそ出会い叶いて秋祭り
秋支度サイズ合せて去年を知る
コスモス園カメラ群がるひと処
豊作を願う案山子と彼岸花
稻刈りて草の根元に日が当たり
ほうき星拳重ねて西の空

◆ 写真を見て一句

【9月】新米

母の字のダンボール底新米よ
新米は古米の上座客待ちす
米不足新米送るジジババや
新米のこの一粒の光かな
孫笑顔の廻りに新米か
家族して植えて刈り上げ新米に



【10月】秋刀魚

実家での七輪秋刀魚母の味
旬食す酢だちの香り秋刀魚かな
秋刀魚焼き我が家にぎわす煙かな
秋刀魚買う八百屋へ回り添え物も
パツク入り秋刀魚眼と見つめ合う
お隣りへ匂い氣にする秋刀魚焼き
初もののスマート過ぎの秋刀魚かな



会員の皆さんへ
気軽に投句を！
待ってまーす

担当幹事:園田・金子・川橋